



第5章 はんだごて、ルーペからニッパ、ピンセットまで

上達の近道!

電子工作職人の七つ道具

漆谷 正義 Masayoshi Urushidani

本章でははんだ付けに成功するための道具を紹介します。

- 温調はんだごて(種々の形状のこて先)
- こて台
- 鉛フリーはんだ(太さ各種)

- フラックス
- はんだ吸い取り線, 手動はんだ吸い取り器
- ピンセット
- ニッパ, ラジオペンチ
- ルーペ

5-1

必要な七つ道具

温調はんだごて

DVD ROM 何でも屋の電子工房ムービー

File No 201, 202, 203

● 選ぶポイント

(1) 温度制御付きであること

鉛フリーはんだ付けのこて先温度は、360℃以下にします。通常は340℃くらいで設定します。温度制御の付いたはんだごてが必須です。

(2) 熱回復時間が短いこと

高密度基板では、熱回復の早いはんだごてが必要です。重要なのはこて先の大きさです。体積の大きいこ

て先は蓄えられる熱量が大きく、少々大き目の部品に当てがっても温度が下がりにません。

(3) こて先の交換ができること

ターゲットに合わせて、こて先の形状を変えようまくいきます。写真1は、使用中にワンタッチでこて先の交換ができるタイプです。

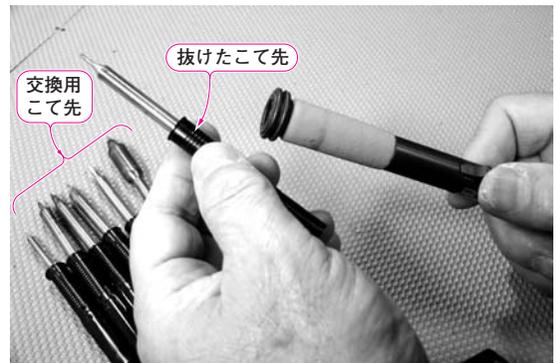
鉛フリーはんだは、酸化防止効果のある鉛を含まないため、こて先が短期間で消耗します。共晶はんだと違い、鉛フリーはんだの場合、こて先は消耗品と考えるべきです。

● デモ機を試すときに見るポイント

デモ機を貸してくれるメーカーもあります。いろいろ



(a) グリップ後部のレバーをスライド



(b) 突出したこて先を交換

写真1 こて先の交換